

「第 4 次秋田市地域福祉計画の令和 2 年度取組
状況および令和 3 年度取組予定」について

1 全体の進捗状況

第 4 次秋田市地域福祉計画における、令和 2 年度取組状況および令和 3 年度取組予定を取りまとめました。

そのうち、令和 2 年度取組状況については、A が令和元年度と比べ減少したものの、B が令和元年度と比べ増加し、その結果 A と B の合計割合が 96.7% と令和元年度とほぼ同じだったことから、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、概ね順調に進捗したものと捉えております。

また、令和 3 年度については、引き続き感染症対策を十分に講じながら、各種施策に取り組んでまいります。

評価	令和元年度取組状況（参考）		令和 2 年度取組状況	
	項目数	割合（%）	項目数	割合（%）
A	36	40.0	29	32.2
B	50	55.6	58	64.5
C	4	4.4	1	1.1
※	—	—	2	2.2
計	90	100.0	90	100.0

（注）割合については、一部端数処理しております。

【評価基準】

等級	評価	例
A	十分な成果を上げた	8 割以上の成果を上げた、事業期間中に見直しを行い現在は十分な成果を上げている、十分な成果を上げ事業が終了した、など
B	一定の成果を上げた	4 ～ 7 割程度の成果を上げた、一部課題や取組が不十分な事項があり一部見直しを行いながら事業を進めていく必要がある、など
C	内容の見直しが必要	あまり成果が上がっておらず、廃止を含め、事業の抜本的な見直しが必要である、など
※	その他	コロナ対策等のため、事業の中止や縮小をし、代替の取組もやむを得ない事情で実施できなかった、など

2 主な取組指標に関する実績

前記の 1 に記載したとおり、取組毎の進捗状況を毎年評価しているほか、計画の達成度が判断できるよう、主な取組には指標を設定しております。

その結果、「↑ 好転」が 8 項目 23.5% と前年度と同じだったものの、「→ 横ばい」が 13 項目 38.3% と前年度から減少し、「↓ 悪化」が 12 項目 35.3% と前年度から増加したことから、個別の取組については新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、令和 3 年度以降の推移を慎重に見守り、必要に応じて取組の見直しを検討してまいります。

評価	令和元年度指標状況(参考)		令和 2 年度指標状況	
	指標数	割合(%)	指標数	割合(%)
↑ 好 転	7	20.6	8	23.5
→ 横ばい	23	67.7	13	38.3
↓ 悪 化	3	8.8	12	35.3
※ 対象外	1	2.9	1	2.9
計	34	100.0	34	100.0

(注) 割合については、一部端数処理しております。

【評価基準】

評価	評価説明
↑ 好 転	策定時の実績から、20%以上好転した
→ 横ばい	策定時の実績から、20%を超えない増減に推移した
↓ 悪 化	策定時の実績から、20%以上悪化した
※ 対象外	達成度の調査対象外となった